



たった1秒の言葉で

副校長 有我 紀彦

私の好きな詩に、小泉吉宏さんの「一秒の言葉」があります。この詩を初めて読んだときに、言葉とは何てすごい力をもっているんだと感動したのを覚えています。

たった1秒で人を幸せにできるのが言葉。たった1秒で人を傷付けてしまうのも言葉です。だからこそ私たちは、言葉の力を理解したうえで使わなくてはいけないと思います。私が教室や廊下などで子どもたちの様子を見ていると、いろいろな言葉が聞こえてきます。1秒の言葉もたくさん出てきます。「またね。」「楽しいよね。」「ありがとう。」「ごめんね。」「それおもしろいよ。」「つまらないな。」「きょうなら。」「かなしい。」「おはようございます。」「それへんだよ。」「かわいそう。」

言葉はたった1秒でも強いのです。我々教職員も言葉に気を付けなければなりません。子どもたちに思いが伝わるように言葉を使うことが大切だと思います。

私がこの学校に着任したときに、全校の前での最初のあいさつで、「ありがとう」をたくさん言いたいと子どもたちに伝えました。1秒ほどの言葉でも幸せになってもらえるように、笑顔あふれる学校になるように、これからも精進していきたいと思います。2月は展覧会があります。子どもたちの頑張りに、1秒ほどの言葉でも、長い言葉でもたくさんお声をかけていただけとありがたいです。よろしくお願ひいたします。

「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に一生のときめきを感じことがある。

「ありがとう」この一秒ほどの短い言葉に人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」この一秒ほどの短い言葉で勇気がよみがえってくることがある。

「おめでとう」この一秒ほどの短い言葉で幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」この一秒ほどの短い言葉に人の弱さを見ることがある。

「きょうなら」この一秒ほどの短い言葉が一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。

一生懸命、一秒。

小泉吉宏さんの「一秒の言葉」より